

(3) 教頭部会

会 長 松本 一彦 (西土佐中学校)
 副会長 宮崎 平 (西土佐小学校)
 門田 直子 (中村西中学校)
 事務局 小橋 匠 (東山小学校)

1. 研究主題 「小中連携をどう進めるか ～子どもたちの学びと育ちの保障をめざして～」

2. 研究経過

月・日	研究のあらまし	会 場	備考
4/5 (金)	★定期総会及び第1回中央区小・中学校教頭会研修会 「役員選出・組織づくり等」	中央公民館	全会員
	第1回四万十市校長会 教頭・主幹教諭会	市役所	全会員
5/8(水)	市教育研究大会組織総会	中村南小学校	全会員
5/2 (月)	幡多地区小・中学校教頭会研修会 (総会・研修会)	武道館	全会員
5/27 (月)	☆第2回中央区小・中学校教頭会役員研修会	武道館	全会員
	★第2回中央区小・中学校教頭会研修会 「テーマに係る研究体制、研究方法について」		
5/3 (金)	平成31年度高知県小・中学校教頭会研修会 (総会・研修会)	高知会館	全会員
6/24 (月)	☆第3回中央区小・中学校教頭会役員研修会	防災センター	全会員
	★第3回中央区小・中学校教頭会研修会 「幡多地区小中教頭会研究大会」レポート研究		
7/25 (木)	☆第4回中央区小・中学校教頭会役員研修会	防災センター	全会員
	★第4回中央区小・中学校教頭会研修会 「幡多地区小中教頭会研究大会」レポート研究		
8/23 (月)	☆第5回中央区小・中学校教頭会役員研修会	武道館	全会員
	★第5回中央区小・中学校教頭会研修会 「幡多地区小中教頭会研究大会」レポート研究		
8/30 (月)	第6回四万十市校長会 第2回教頭・主幹教諭会	市役所	全会員
10/4 (金)	幡多地区小・中学校教頭会研究大会 (土佐清水大会)	土佐清水市立 中央公民館	全会員
10/18 (金)	第45回高知県小・中学校教頭会研究大会	高知会館	全会員
11/13 (水) ～14 (木)	平成31年度四国教頭会研究大会 (徳島大会)	徳島市	全会員
11/25 (月)	☆第6回中央区小・中学校教頭会役員研修会	武道館	全会員
	★第6回中央区小・中学校教頭会研修会 「2020 四国地区小中教頭会研究大会」レポート研究		
1/7 (火)	第9回四万十市校長会 第3回教頭・主幹教諭会	市役所	全会員
2/3 (月)	☆第7回中央区小・中学校教頭会役員研修会	防災センター	全会員
	★第7回中央区小・中学校教頭会研修会 「今年度の総括と来年度の方向性」		

備考

- 研修会30分前に役員会を行い、情報交換・打合せと会場準備を行う。
- 開始時刻を15:30とし、学級担任も参加しやすいように時間を設定する。
- 郡・県・四国教頭会へも積極的に参加をする。

3. 研修活動

(1) 研究テーマに係る研修

今年も研究テーマは、「小中連携をどう進めるか～子どもたちの学びと育ちの保障をめざして～」を引き継ぎ、郡・県の教頭研大会の提案レポートを協議する中で、学力の定着、向上に向けた小中9年間のよりよい連携の在り方について主に研修を進めてきた。

(2) 学校事務共同組織（支援室）との研修会

第4回研修会では、本年度も四万十市学校事務支援室の篠田事務長・酒井主事に講師として来ていただき、「学校事務・働き方改革・校務支援システム」についての研修を行うことができた。

四万十市では来年度、一部の学校にしか校務支援システムが入らないが、他市町村や導入校へ異動した場合には、すぐに使わなくてはいけないので現時点で分かる情報の共有を行った。

(3) 校長会との合同研修会

本年度も教育委員会主催で年間3回実施し、市教委の取組の説明や8月には「今、なぜ『がん教育』なのかー学校におけるがん教育の必要性と進め方ー」（高知県立大学 看護学部長 藤田佐和 教授）、「教育の今と未来を考察する～『協働』と『徹底』の文化を醸成するために～」（県小中学校課 黒瀬渡 課長）の講話、1月には中村小学校の久保田教頭が「新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善」の取組発表を行うなど充実した内容で合同研修会を行うことができた。

(4) 幡多地区小中学校教頭会研究大会（土佐清水大会）への参加

土佐清水市立中央公民館で幡多地区教頭会研究大会が行われた。中央区から東中筋中学校の森教頭が「校内研修を充実するための教頭の役割」という研究課題で、二つの指定事業を核に校内研修をすすめていく上での教頭の役割についての実践報告を行った。（第45回高知県小・中学校教頭会研究大会でも幡多地区の代表として報告）

講演では講師に土佐清水沸騰社中・地域プロデューサー 竹田真さんを迎え「土佐清水市のアンテナショップ 土佐清水ワールドの取組について」という演題で、県外への出店の苦労や工夫、土佐清水市全体を元気にする取組についてのお話を聞くことができた。

4. 今年度の成果（○）と課題（●）

- 今年度の郡や県の教頭研大会の提案レポート作成に向け、教頭会で独自のアンケートを実施し、集計結果をもとに校内研・人材育成について協議を行うことができた。
- 学校事務支援室との研修は、それぞれの学校（教頭）のもつ課題を解決する一助となり、有意義な研修になっている。
- 15:30開始で教頭会を計画しているが、各学校の会議や行事等と重なり参加人数は少ない。また、学級担任になると更に出席できにくくなっている。
- 県教頭会への参加率は、学級担任を兼務している教頭が多い事もあるが中央区の参加率は幡多郡でも特に低く、研修を深める意味でも参加できるように対策を考える必要がある。（来年度は、四国教頭研大会が高知開催のため、より多くの参加が必要となる。）

5. 来年度に向けて

- ・引き続き事務支援室研修会を行い、働き方改革等、今日的課題について協議する。
- ・夏季休業中などに研修会を組むことで、参加しやすいようにする。
- ・四国教頭会での実践発表に向けて、中央区教頭会として統一した取り組みを計画的に行い、実践発表が各現場に還元できるようにする。